

国土交通省 令和6年度
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択プロジェクト

日建設計北海道オフィス 新築プロジェクト

株式会社日建設計

プロジェクト概要

- 国内拠点の一つである北海道オフィスの新築計画
- 積雪寒冷地でのZEBの実現、DE&I、Wellness、木質建築など今日的テーマに取り組み、未来の社会環境デザインを共創するプラットフォームとして機能する拠点として整備



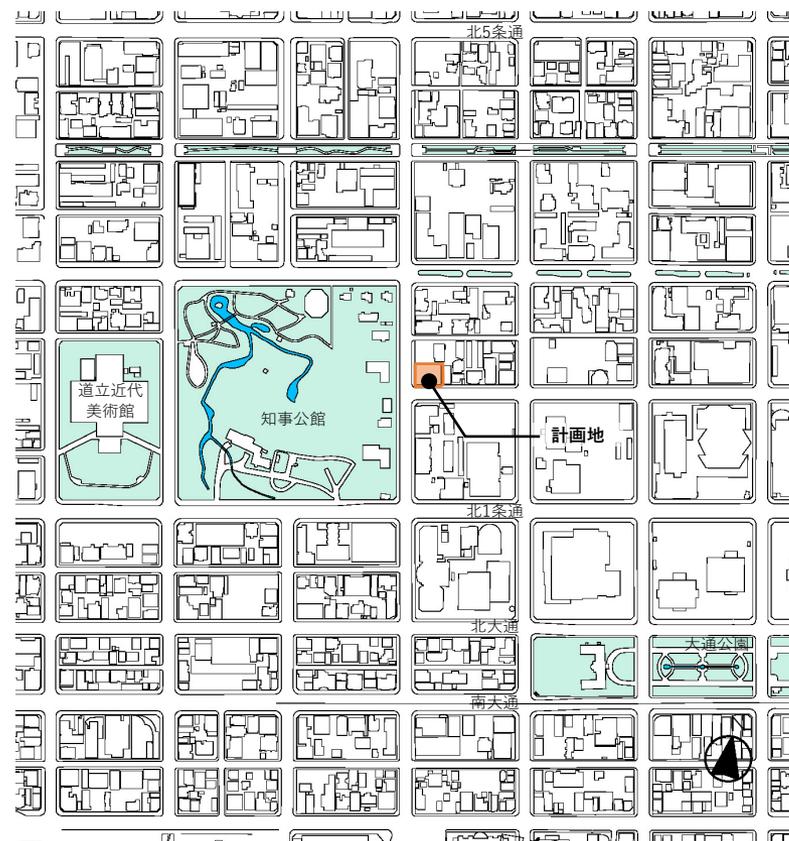
建築面積： 503.26m²

延床面積：1,382.57m²

階数：地上3階 塔屋2階

構造：RC造 一部 木造、鉄骨造

竣工予定：2025年11月



コンセプト

1

北海道エリアでの日建グループのリソースを創発するワークプレイス

「北海道150人ワンオフィス」を**立体的**に創る

- 日建設計の全国的なワークプレイスの更新と、北海道らしいアセット活用
- DE&Iを体現し、誰もが働きやすいワークプレイスの実践と発信

2

北海道拠点として発信するスケルトン・インフィル

北海道産の**トドマツ**を最大限活かす空間 x 構造

- 「地産地消型木質建築」のショーケース（クライアントへのPR効果）

3

Experience, Integratedを体感する環境の創出

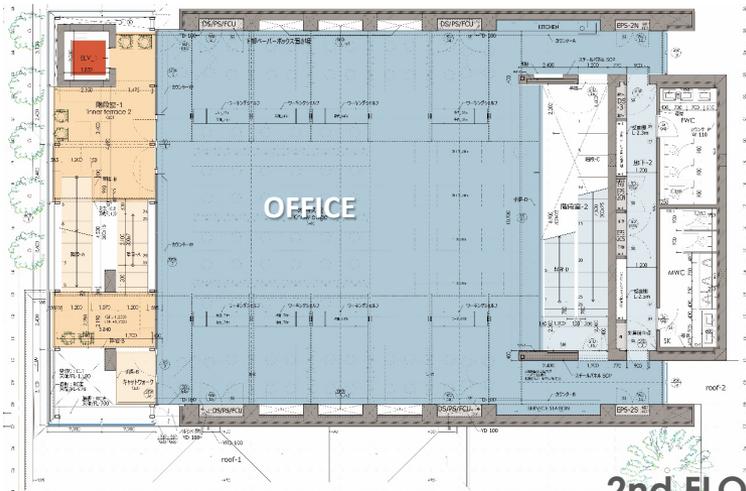
北海道 = 寒冷地をリードしEIを体感する**環境建築**

- Net-Zero Energy ビルの実現（省エネのみでのNearly ZEBへの挑戦）
- 環境装置としての日建設計の“EI”を実際に体感出来る場としての活用

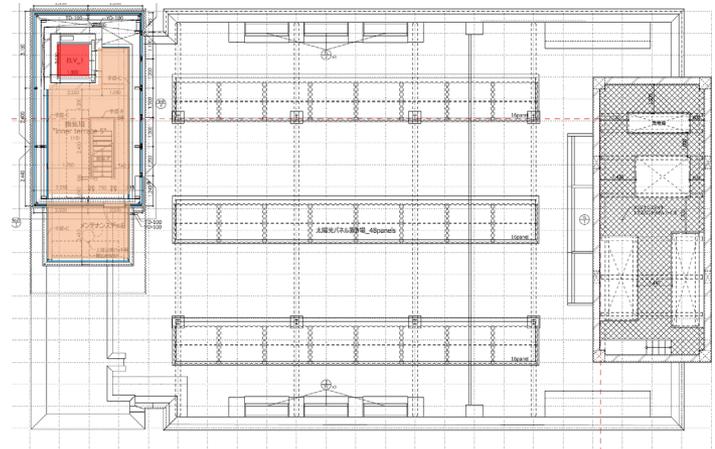
1

北海道エリアでの日建グループのリソースを創発するワークプレイス

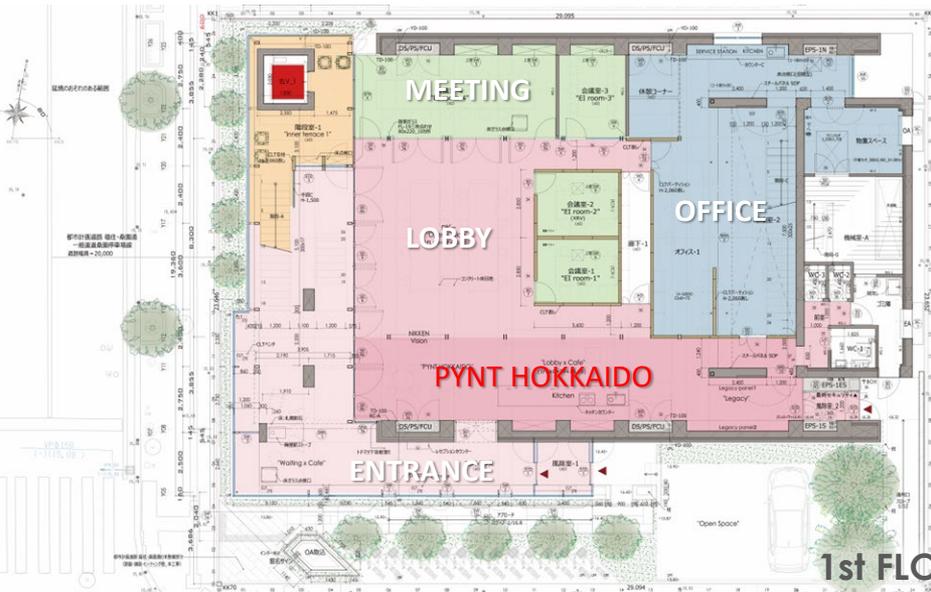
「北海道150人ワンオフィス」を立体的に創る



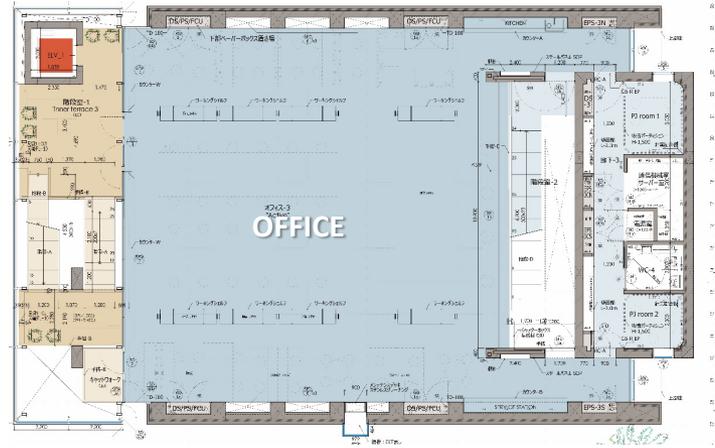
2nd FLOOR



PH2F FLOOR



1st FLOOR



3rd FLOOR

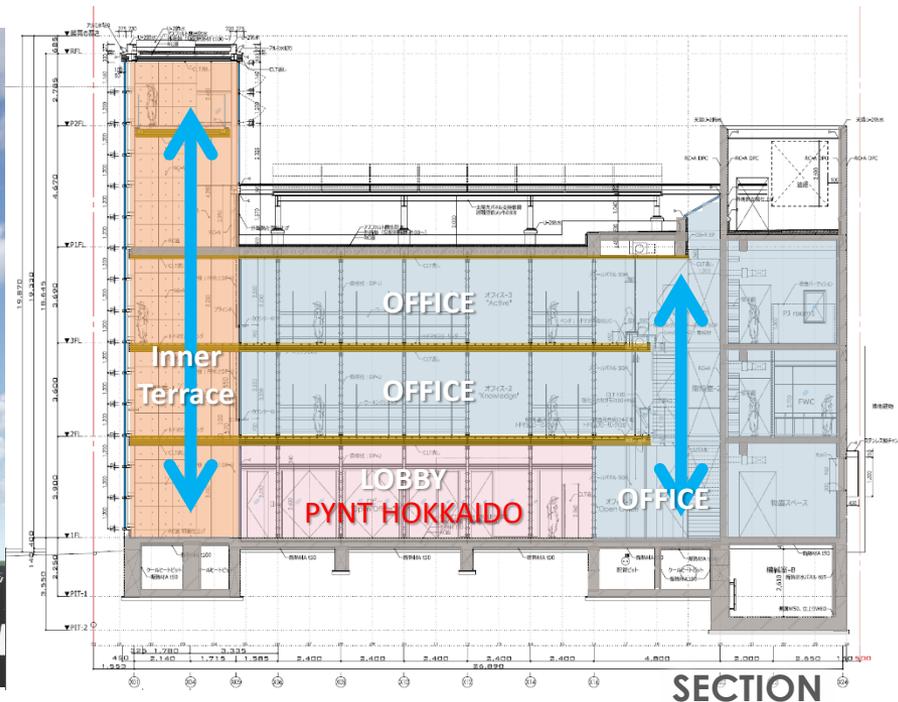
1

北海道エリアでの日建グループのリソースを創発するワークプレイス

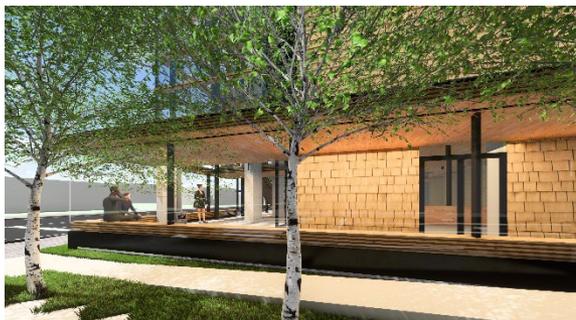
「北海道150人ワンオフィス」を立体的に創る



建物外観



SECTION



エントランス



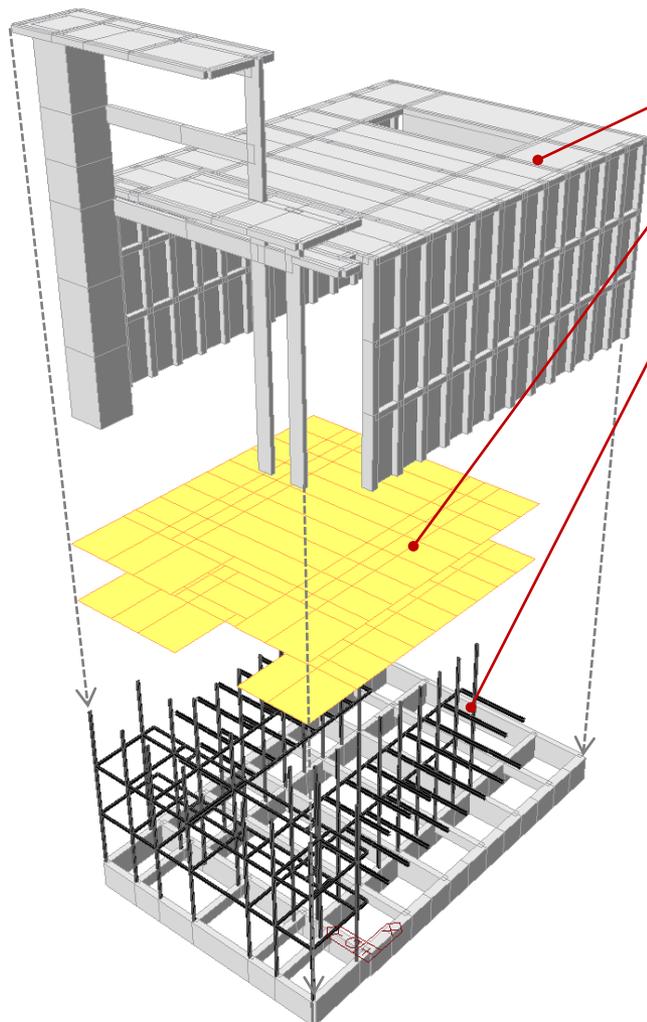
ロビー・PYNT HOKKAIDO



2・3Fオフィス (奥側：インナーテラス)

北海道産のトドマツを最大限活かす空間 x 構造

- 伐期を迎える道産トドマツ材を利用した**木質建築のショーケースの実現**



適材適所の構造材料

- ① 高炉セメント：RC躯体に積極採用
- ② 木質化：CLTによる床スラブ
- ③ 電炉材：溶接に頼らない鉄骨フレーム



※ 道内ファブで製作可能な最大スパン

ゲルバー梁方式を採用し、
効率的にオフィスに最適なスパンを実現

352m³分のトドマツを使用

道内での木材/CLT利活用促進に向けた
高いPR効果を期待

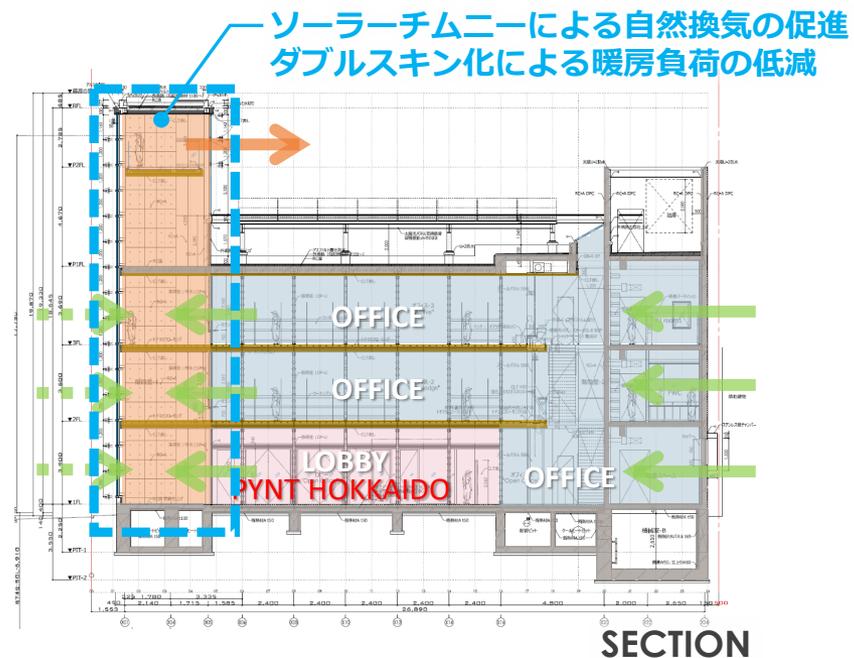
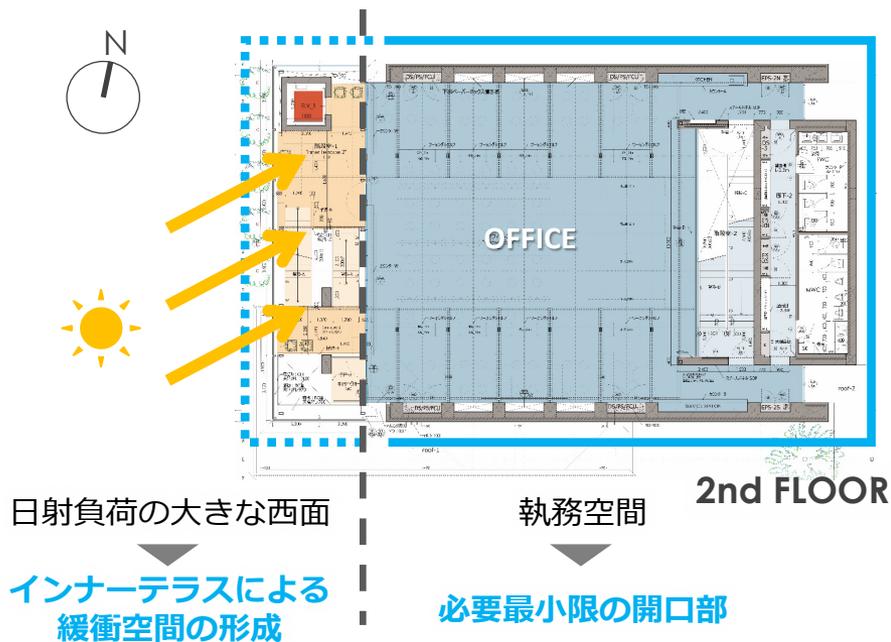
北海道＝寒冷地をリードしEIを体感する環境建築

- 緑豊かな周辺環境を積極的に取り込む建築計画



北海道 = 寒冷地をリードしEIを体感する環境建築

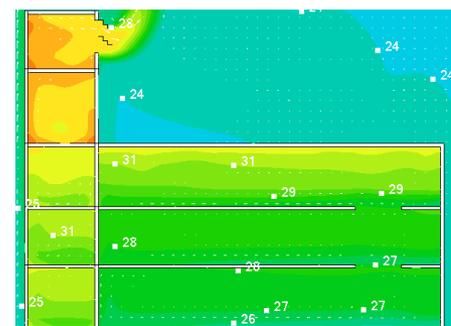
- 周辺環境を取り込む開放的な執務空間の実現と外皮負荷の最小化を両立する建築計画



インナーテラス内部



オフィス内部

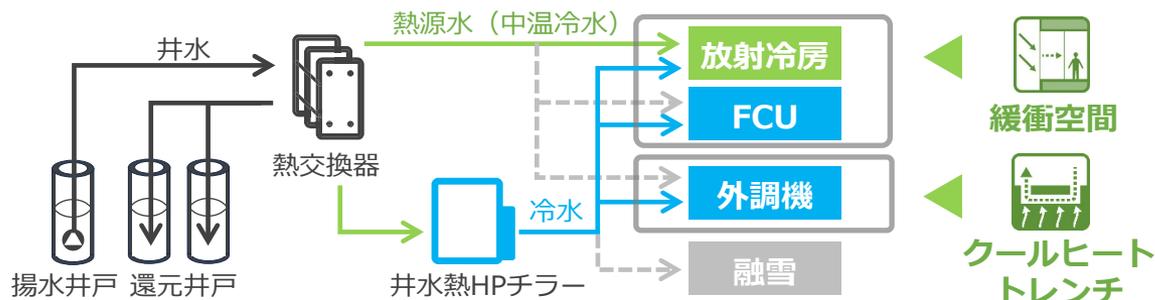


ソーラーチムニーによる自然換気

北海道 = 寒冷地をリードしEIを体感する環境建築

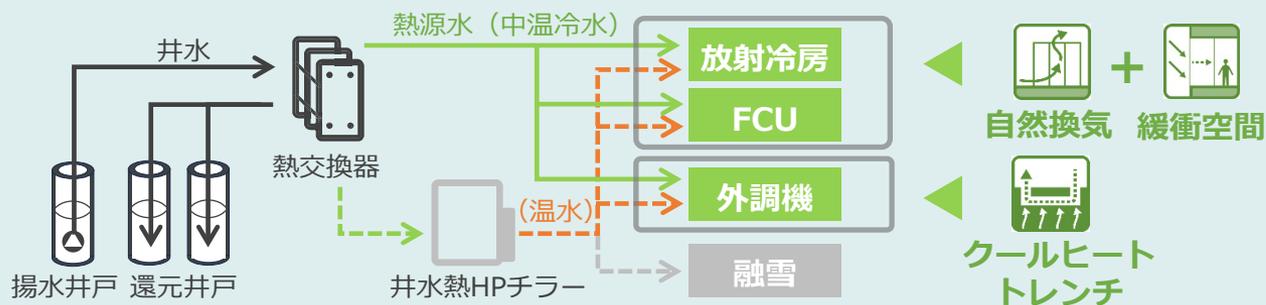
● 井水熱・地中熱を活用した寒冷地の冷暖房効率を高める熱源システムの構築

夏期ピーク時

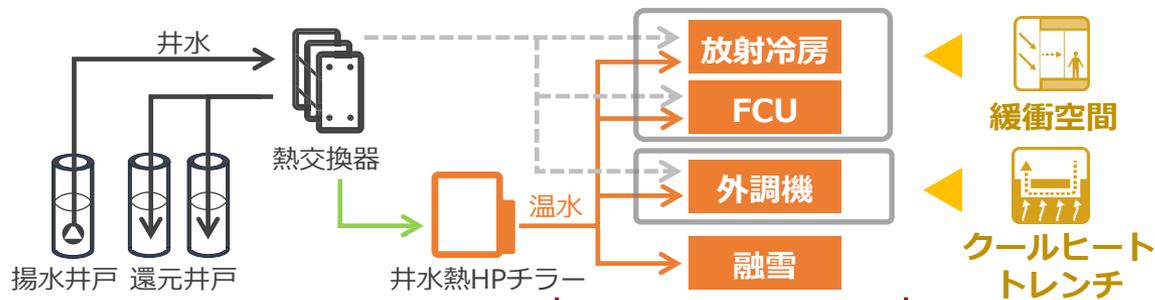


夏期・中間期

熱負荷の低減によるFC期間の最長化



冬期

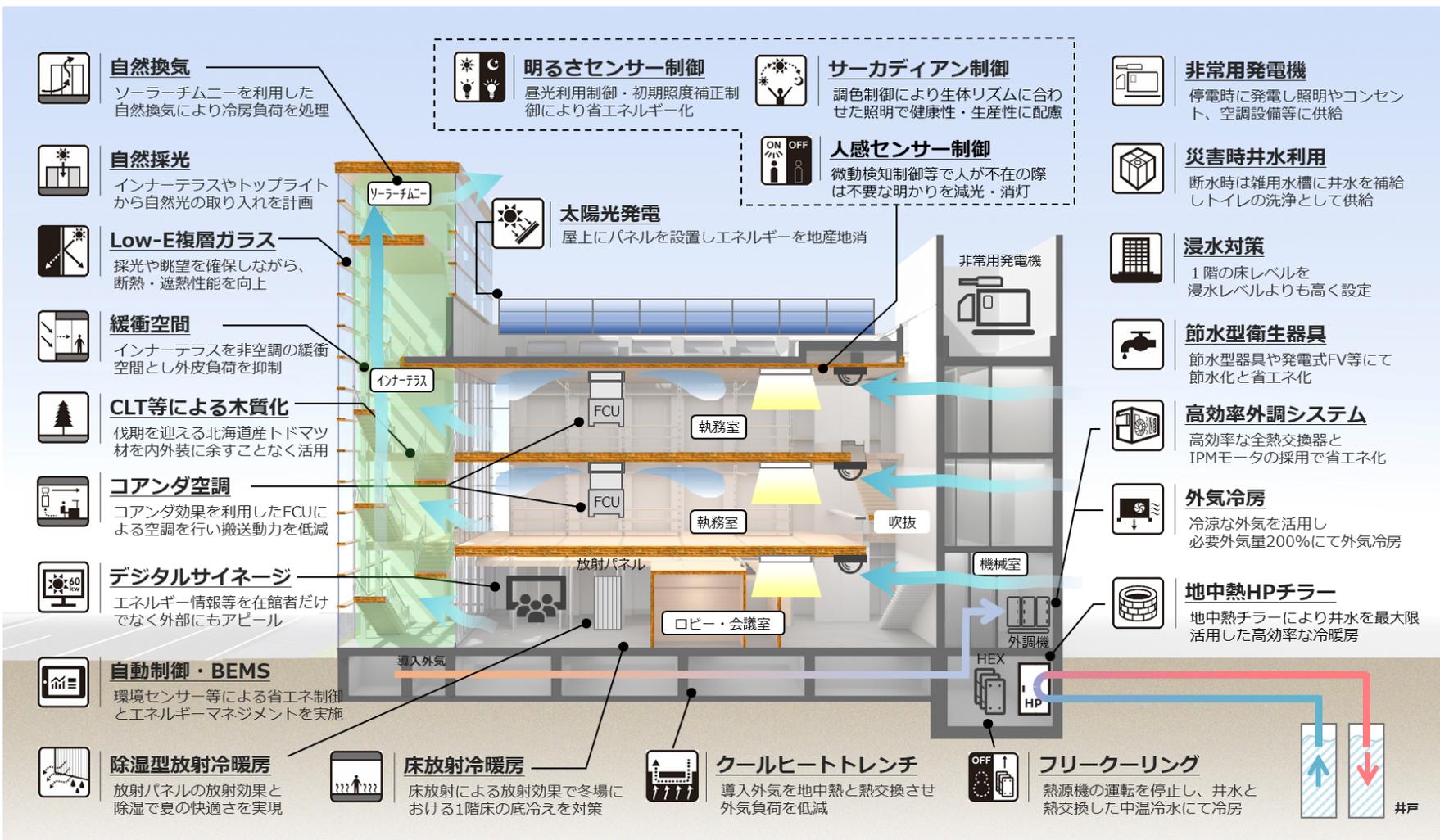


熱源 ▶ 井水熱の有効活用

地中熱等による負荷の低減

北海道＝寒冷地をリードしEIを体感する環境建築

● 低負荷な建物、自然エネルギー活用、高効率な空調・照明システムを組み合わせた環境建築



北海道 = 寒冷地をリードしEIを体感する環境建築

- 北海道内で初となる省エネのみでのNearly ZEBを達成、将来的な運用ZEBの実現を目標



※太陽光発電設備は売電ありのため、発電量は削減率・BEI値には含まれない(発電を含んだ場合の削減率87%)

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |



CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |



NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED